

2008 年度第 2 回阪神地区研究会 報告

平成 21 年 5 月 11 日作成

日時：2009 年 2 月 20 日（金） 13：00～16：40

会場：三宮研修センター

テーマ：「大学図書館と情報リテラシー教育」

講演：

「情報リテラシー・情報リテラシー教育再訪」

兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科 教授 力宗 幸男

【内容概要】

「情報リテラシー」、「情報リテラシー教育」と言われ始めて久しいが、最近ではともすれば、「情報リテラシー」はワードプロセッサや表計算ソフト等の利用技術や、インターネット利用技術を指し、また「情報リテラシー教育」は、それらの技術教育のみに焦点を当てられることが多くなってきている。

そこで、原点にたちもどり、本来の「情報リテラシー」は何か、またそれを教えるための「情報リテラシー教育」とは何かを明らかにすることによって、現代に必要な「読み、書き、算盤」とは何かを探ってみたい。

実例発表：

「小・中規模大学図書館における情報リテラシー教育の実施と諸問題」

神戸山手大学・神戸山手短期大学図書館主任 松岡正樹

【内容概要】

当館が 2008 年度前期に実施した情報リテラシー教育の概要とその効果、諸問題、次年度への改善点などについて事例発表をおこなう。当館は学生数および職員数の面からみれば「小・中規模大学図書館」であると言える。大規模大学図書館が掲げ、推進されている「情報リテラシー教育」との違いについても言及したい。

参加校数：64 校

参加人数：67 名

以上